



JRE関東

ひびき

令和3年2月 20日 NO.9

JRE 関東地協 機関紙

発行責任者 秋山順一

編集責任者 佐藤定司

港区東新橋 2-8-28

自らを変える!! 明日を創る!! イースト イノベーション

2021.3 月ダイヤ改正交渉行っ!!

「変革2027」実現の試金石として

現状に止まっているだけではダメだ!

自らを変える! そして、明日を会社、仲間と共に創造する!! それが私たちだ!

交渉にあたって

昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大や一昨年の台風 19 号による大雨、更に先般発生した福島沖地震によって会社は甚大な被害を被り、まさに会社発足以来最大の危機を迎えたといつて過言ではない。

私たちは「企業内労働組合」として現状を打破する克服策として掲げる「変革 2027」の早期実現を果たすべく役割を担うため自らがレベルアップ、スキルアップしていく。自らを変える。そして、次代を創り上げる。私たちはチャレンジャーとして開拓者として時代の先取りをはたしていこう!!

交渉の中で明らかになった事

車掌業務の将来展望

現場が現場だけ、企画が企画だけに止まることなく、現場と企画一体となったものへと変貌していく。将来的にはワンマンそして無人化となる。

ホームドアについて

現在 72 駅について設置できた。

今年度は 16 駅で、来年度は常磐緩行の各駅に設置する。2032 年度までには東京支社各駅に設置する。

ATO 導入について

会社としては随時導入していく。自動運転についても条件が整い次第導入する



私たちは、会社を守り、発展させるために、社員として、そして社員の集まりである労働組合として何ができるのか考え、行動する事が大事であると考えます!!

私たちの会社が発展する為には私たち自身の意識の再改革をはじめ、上司部下、先輩後輩を含めた職場における対話やコミュニケーションの充実、それを下支えする関係創りが大切であると考えます。さらにこうした社員の声を集約する機能を強化すると共に集約された意見を聞く、そして応える労使関係の構築も大切であると思います。会社側の一方的な考えでも、働く側の思いだけでも会社の経営はうまくいかないことはこれまでの歴史、経験の中で明らかになったのではないのでしょうか。今こそこうした歴史や経験に学び、会社の提唱する「変革 2027」を実現するため新しい労使関係を創造しましょう!!



私たちの思いを多くの仲間の皆さんにお伝え、ご理解戴くため動画のご視聴を！